

はじめてのクラシック

Introduction to Classical Music

爽やかな天才が神にささげる讃歌

フェリックス・ メンデルスゾーン・ バルトルディ

A

2025

OCTOBER

[第2046回]

✂️

Felix Mendelssohn Bartholdy (1809–1847)

メンデルスゾーンは神童として幼い頃より才能を開花させていた天才タイプだ。祖父は哲学者、父は銀行家という裕福で教養のある家柄だが、偉ぶったところはなく、品格があって勤勉。同時代の音楽を演奏するのが当たり前だった時代にあって、古い曲を掘り起こし、当時は忘れ去られていたバッハ作品にふたたび光を当てるなど、音楽界に奉仕した。そんな好青年メンデルスゾーンによる神への讃歌は、まっすぐな信仰心にあふれ、胸を打つ。

詩篇からのインスピレーション

詩篇とは、旧約聖書に集録された宗教的な詩のこと。

ストラヴィンスキー《詩篇交響曲》とメンデルスゾーン《讃歌》の歌詞は、ラテン語とドイツ語という言葉の違いはあれどどちらも詩篇第150篇を使用している。神への賛美を合唱が力強く歌う、2つの交響曲のエネルギーに圧倒されるはずだ。

清涼感あふれる立ち姿！
指揮しながら歌う好青年、
メンデルスゾーン
イラストレーション: OIKE

